

## 浜の活力再生プラン

### 1 地域水産業再生委員会

組織名	香川県地域水産業再生委員会 小豆地区部会
代表者名	部会長 三木正幸

再生委員会の 構成員	土庄中央漁業協同組合、四海漁業協同組合、北浦漁業協同組合、唐櫃漁業協同組合、内海漁業協同組合、池田漁業協同組合 土庄町、小豆島町 香川県、香川県漁業協同組合連合会
オブザーバー	

対象となる地域の 範囲及び漁業の種類	<p>[範囲] 小豆島、豊島（小豆島町、土庄町）</p> <p>[漁業の種類] 小型底びき網（120経営体）、小型定置網（3経営体）、建て網（69経営体）、さわら流しさし網（50経営体）、たこつぼ縄（72経営体）、ノリ養殖業（29経営体） 計343経営体</p>
-----------------------	---

### 2 地域の現状

#### (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

小豆島は、高松市の約 20km 北東沖に位置し、備讃瀬戸東部から播磨灘西部に接している。その海岸線は変化に富み、多数の半島と入江があるため、好漁場を形成している。

豊島は、小豆島の西方 3.7km に位置する島で、周辺海域はかつては、世界最高の漁場と賞賛されるほどの好漁場であった。

漁業種類については、小型機船底びき網、さし網、小型定置網などの漁業が主要な漁業として営まれているほか、ノリ養殖業が漁業生産の中心となっている。

#### [漁船漁業]

小型底びき網漁業や小型定置網漁業が盛んであるが、域内の人口は 3 万人強と少なく、出荷先として岡山県や高松市などの消費地まで漁獲物を運ぶ必要がある。このため、燃油高騰による輸送経費の上昇、長時間労働、煩雑な作業などは漁業者の経営悪化をもたらしている。また、後継者不足に直面しており、特に零細な漁業については深刻な状況となっている。

#### [養殖業]

ノリ養殖業については、かつては香川県全体の生産額が 111 億円に達したこともあり、本県は国内でも有数なノリ生産地であったが、生産過剰により価格が急落し、経営体数は急激に減少した。

県下全体の 3 割弱のノリを生産が行われている小豆地区においても、経営体の減少は進んでいる。それに加え、近年の海水温の上昇による漁期の短縮化、冬季の栄養塩レベルの低下、漁業コストの向上により、ノリ養殖業の経営は非常に厳しい状況となっている。

(2) その他の関連する現状等

- ・小豆島は、年間 100 万人を超える観光客が来島する、観光産業の盛んな島である。
- ・観光客に新鮮な魚料理を提供する飲食店が少ない。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

- 漁業収入の向上
  - ・地元水産物の販売促進
  - ・水産食育活動の推進
  - ・ノリ養殖の振興
  - ・収入の安定化
  - ・瀬戸内国際芸術祭を活用した販売促進
- 漁業コスト削減
  - ・省燃油
  - ・ノリ養殖業の協業化と設備投資費の抑制

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

香川県資源管理指針に沿って各漁業協同組合が定めた資源管理計画に基づき、漁獲努力量の削減に努めており、その履行については香川県資源管理協議会が確認を行っている。

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1 年目（平成 26 年度）

取組の内容は、取組の進捗状況や得られた成果等を踏まえ、必要に応じ見直すこととする。

漁業収入向上のための取組	漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より 0.5%増加） <ul style="list-style-type: none"><li>○地元水産物の販売促進<ul style="list-style-type: none"><li>・地区内の全漁業者と漁協は、水産関連団体（香川県漁業協同組合連合会、さぬき海の幸販売促進協議会等：以下同様）と連携し、学校給食関係者を交え、サワラフィレ等の水産物を地元の小中学校の給食部材として提供することを検討する。</li><li>また、地元で採れたノリを加工した特産品（通販が可能となる保存食品等）の開発に着手する。</li><li>更に、漁協は、直営販売所・飲食店の整備を検討する。</li></ul></li><li>○水産食育活動の推進<ul style="list-style-type: none"><li>・小豆地区漁業士会に所属する 13 名の漁業者が県、水産関連団体と連携して県内の学校などで食育教室を拡大することにより幼少期から魚を食べる習慣を維持し、水産物の消費量拡大を図る。</li></ul></li><li>○ノリ養殖の振興<ul style="list-style-type: none"><li>・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。</li><li>・ノリ養殖経営体は、養殖ノリの色落ち対策に取り組み、品質の向上による生産額増加を目指す。</li></ul></li></ul>
--------------	--

	<p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 5.0%削減)</p> <p>○省燃油</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業経営セーフティネット構築事業に参加する地区内の 82 名の漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。</li> <li>・18 名の漁業者グループは、省エネ機器への換装を推進する。</li> <li>・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。</li> </ul> <p>○ノリ養殖設備の初期投資費・運用管理費の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の養殖経営体が全自動ノリ乾燥機などの高額設備の共同利用を進め、漁業者個人当りの初期投資費・運用管理費を抑制する。</li> </ul>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省燃油活動推進事業 [国]</li> <li>・省エネ機器等導入推進事業 [国]</li> <li>・漁業経営セーフティネット構築事業 [国]</li> <li>・漁業収入安定対策事業 [国]</li> <li>・漁場環境・生物多様性保全総合対策事業 [国]</li> <li>・香川県水産振興総合対策事業 [県]</li> </ul>

## 2 年目 (平成 27 年度)

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 1.0%増加)</p> <p>○地元水産物の販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の全漁業者と漁協は、水産関連団体と連携し、学校給食関係者を交え、サワラフィレ等の水産物を地元の小中学校の給食部材として、魚種の選定を行い試行的な提供を行う。</li> </ul> <p>地元で採れたノリを加工した特産品の開発については、地元加工業者と連携することにより、試作品を作製する。</p> <p>また、漁協は、漁業者の意見をききつつ、直営販売所・飲食店の実施設計を行う。</p> <p>○水産食育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小豆地区漁業士会に所属する 13 名の漁業者が県、水産関連団体と連携して県内の学校などで食育教室を拡大することにより幼少期から魚を食べる習慣を維持し、水産物の消費量拡大を図る。</li> </ul> <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。</li> <li>・ノリ養殖経営体は、養殖ノリの色落ち対策に取り組み、品質の向上による生産額増加を目指す。</li> </ul> <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。</li> </ul>
--------------	--

<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 5.3%削減)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○省燃油 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。</li> <li>・ 18名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を削減する。</li> <li>・ 漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。</li> </ul> </li> <li>○ノリ養殖設備の初期投資費・運用管理費の抑制 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区内の養殖経営体が全自動ノリ乾燥機などの高額設備の共同利用を進め、漁業者個人当りの初期投資費・運用管理費を抑制する。</li> </ul> </li> </ul>
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 省エネ機器等導入推進事業 [国]</li> <li>・ 漁業経営セーフティネット構築事業 [国]</li> <li>・ 漁業収入安定対策事業 [国]</li> <li>・ 漁場環境・生物多様性保全総合対策事業 [国]</li> <li>・ 香川県水産振興総合対策事業 [県]</li> </ul>

### 3年目（平成28年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 3.0%増加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地元水産物の販売促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区内の全漁業者と漁協は、水産関連団体と連携し、学校給食関係者を交え、サワラフィレ等の水産物を地元の小中学校の給食部材として、魚種の選定を行い試行的な提供を行う。</li> <li>地元で採れたノリを加工した特産品の開発については、地元加工業者と連携することにより、試作品を作製する。</li> <li>また、漁協は、漁業者の意見をききつつ、直営販売所・飲食店の実施設計を行う。</li> </ul> </li> <li>○瀬戸内国際芸術祭を活用した販売促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2013年に開催された瀬戸内国際芸術祭において、豊島・小豆島の会場へは、国内外から32万人を越える来場者があり、香川県は賑わいをみせた。この中には情報発信力の高いメディア関係者も多く含まれており、香川の水産物をPRする絶好の機会である。また、多くの来場者は、芸術作品だけではなく、瀬戸内の新鮮な水産物を含む『食』への期待は高い。しかしながら、県内における県産水産物の提供体制は脆弱であり、大きなPRの機会を活かしきれていないのが実情である。そこで、次回の瀬戸内国際芸術祭が2016年に開催されるのに合わせ、地区内の全漁業者が県、水産関連団体と連携し、来場者に対して地元産の水産物のPR活動や販売促進活動を行う。それにより、芸術祭開催年度における一時的な水産物売上を伸ばすだけでなく、香川の水産物の素晴らしさを県外・国外の方に認識してもらい、長期的な販売量底上げにつなげる。</li> </ul> </li> <li>○水産食育活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小豆地区漁業士会に所属する13名の漁業者が県、水産関連団体と連携して県内の学校などで食育教室を拡大することにより幼少期から魚を</li> </ul> </li> </ul>
---------------------	---

	<p>食べる習慣を維持し、水産物の消費量拡大を図る。</p> <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。</li> <li>・ノリ養殖経営体は、養殖ノリの色落ち対策に取り組み、品質の向上による生産額増加を目指す。</li> </ul> <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 5.6%削減)</p> <p>○省燃油</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。</li> <li>・18名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を削減する。</li> <li>・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。</li> </ul> <p>○ノリ養殖設備の初期投資費・運用管理費の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の養殖経営体が全自動ノリ乾燥機などの高額設備の共同利用を進め、漁業者個人当りの初期投資費・運用管理費を抑制する。</li> </ul>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業経営セーフティネット構築事業 [国]</li> <li>・漁業収入安定対策事業 [国]</li> <li>・漁場環境・生物多様性保全総合対策事業 [国]</li> <li>・香川県水産振興総合対策事業 [県]</li> </ul>

#### 4年目(平成29年度)

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 3.5%増加)</p> <p>○地元水産物の販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の全漁業者と漁協は、水産関連団体と連携し、学校給食関係者を交え、サワラフィレ等の水産物を地元の小中学校の給食部材への提供について、2年間の試行結果を踏まえ、課題等を改善しさらに回数を増加させ提供を行う。</li> </ul> <p>地元で採れたノリを加工した特産品の開発については、試作品の評価等を踏まえ、改良を加えて、商品化を目指す。併せて、小売店・通信販売等への販売促進を行い、販売経路を確保する。</p> <p>また、漁業者は、漁協が整備した直営販売所・飲食店を活用し、同施設へ積極的に出荷することにより、魚価の向上を図る。同施設においては、上記の特産品の販売も積極的に行う。</p> <p>○水産食育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小豆地区漁業士会に所属する13名の漁業者が県、水産関連団体と連携して県内の学校などで食育教室を拡大することにより幼少期から魚を食べる習慣を維持し、水産物の消費量拡大を図る。</li> </ul> <p>○ノリ養殖の振興</p>
--------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。</li> <li>・ノリ養殖経営体は、養殖ノリの色落ち対策に取り組み、品質の向上による生産額増加を目指す。</li> </ul> <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 5.9%削減)</p> <p>○省燃油</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。</li> <li>・18名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を削減する。</li> <li>・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。</li> </ul> <p>○ノリ養殖設備の初期投資費・運用管理費の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の養殖経営体が全自動ノリ乾燥機などの高額設備の共同利用を進め、漁業者個人当りの初期投資費・運用管理費を抑制する。</li> </ul>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業経営セーフティネット構築事業 [国]</li> <li>・漁業収入安定対策事業 [国]</li> <li>・漁場環境・生物多様性保全総合対策事業 [国]</li> <li>・香川県水産振興総合対策事業 [県]</li> </ul>

#### 5年目（平成30年度）

取組の最終年であり、以下の取組を引き続き行うが、目標達成を確実なものとするよう、プランの取組の成果を検証し必要な見直しを行う。

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 4.0%増加)</p> <p>○地元水産物の販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の全漁業者と漁協は、水産関連団体と連携し、学校給食関係者を交え、水産物を地元の小中学校の給食部材への提供について、これまでの取組結果を踏まえ、本格的な提供を開始する。本取組により、新たな販路が確保されつつ、児童に対する魚食普及が図られる。</li> </ul> <p>地元で採れたノリを加工した特産品の開発については、これまでの取組結果を踏まえ、改良を加えて、商品化を目指す。併せて、小売店・通信販売等への販売促進を行い、販売経路を確保する。</p> <p>また、漁業者は、漁協が整備した直営販売所・飲食店を活用し、同施設へ積極的に出荷することにより、魚価の向上を図る。同施設においては、上記の特産品の販売も積極的に行う。</p> <p>○水産食育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小豆地区漁業士会に所属する13名の漁業者が県、水産関連団体と連携して県内の学校などで食育教室を拡大することにより幼少期から魚を食べる習慣を維持し、水産物の消費量拡大を図る。</li> </ul> <p>○ノリ養殖の振興</p>
--------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。</li> </ul> <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。</li> </ul>
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 5.0%削減)</p> <p>○省燃油</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。</li> <li>・18名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を削減する。</li> <li>・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。</li> </ul> <p>○ノリ養殖設備の初期投資費・運用管理費の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の養殖経営体が全自動ノリ乾燥機などの高額設備の共同利用を進め、漁業者個人当りの初期投資費・運用管理費を抑制する。</li> </ul>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業経営セーフティネット構築事業 [国]</li> <li>・漁業収入安定対策事業 [国]</li> <li>・香川県水産振興総合対策事業 [県]</li> </ul>

#### (4) 関係機関との連携

<p>○香川県水産試験場との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産試験場が行う資源管理に関する調査の結果を基に、効率的な資源管理に努める。</li> <li>・当地域での水質等に適した養殖技術について研究を共同で行う。</li> </ul> <p>○他地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他地域の漁業協同組合とも連携し、運送の共同運行などにより流通コストの削減を目指す。</li> </ul>
---

## 4 目標

### (1) 数値目標

漁業所得の向上 %以上	基準年	平成 年度：漁業所得	千円
	目標年	平成 年度：漁業所得	千円

### (2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

## 5 関連施策

### 活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・省燃油活動推進事業 [国]</li> </ul>	<p>燃油経費への負担を軽減し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ機器等導入推進事業 [国]</li> </ul>	<p>省エネ機器への換装を促進し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業経営セーフティネット構築事業 [国]</li> </ul>	<p>燃油経費への負担を軽減し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業収入安定対策事業 [国]</li> </ul>	<p>漁業者の収入安定を図り、漁業経営の基盤を強化することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁場環境・生物多様性保全総合対策事業 [国]</li> </ul>	<p>いれ栄養塩供給手法の開発等の漁場改善実証試験を行い、ノリの品質を向上させることにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある香川の水産物づくり推進事業 [県]</li> </ul>	<p>ノリの色落ち・安定生産等の対策に取り組むことにより、ノリの価格を安定させ、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・香川県水産振興総合対策事業 [県]</li> </ul>	<p>水産物の販売促進、食育活動に取り組むことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>